

---

# 『キャプテン翼青春録』

鳳雛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『キャプテン翼青春録』

### 【Nコード】

N3839E

### 【作者名】

鳳雛

### 【あらすじ】

サッカーの試合が終わりました。翼くん達は、シャワー室で汗を流しました。仲間達は、石崎くんをからかい、笑ってました。『チンコは友達、くさくない』。キャプテン翼、青春録です。

**（前書き）**

友情はあるんだよね。

キャプテン翼率いる

南葛中学は、

全国中学サッカー大会V3に挑んだ。

しかし、簡単に勝てるチームばかりじゃなかった。

翼の前に立ちふさがるライバルたち。

新田 & a m p ・大友カルテット

早田

立花兄弟

次藤 & a m p ・佐野

松山

そして最大のライバル

日向小次郎 & a m p ・若島津の東邦。

しかし、

結果は南葛と東邦の同時優勝だった。

優勝を果たし、

南葛中学サッカー部のメンバーは、試合から帰ると、シャワーで汗を流していた。

「そういえば、石崎」

「なんだよ滝？」

「そろそろチンコの皮は剥けたのかよ」

あははははは

みんなが笑う。

「うるせえなあ。ほっといてくれよ。剥けてないって知ってて、毎回同じ事聞くな！」

「いいじゃないか、どれどれ、見せてみるよ石崎」

「よしてくれよ」

嫌がる石崎を捕まえる井沢と来杉。

そして滝が石崎のチンコを確かめる。

「どれ、どれ」

「やめろよ！」抵抗する石崎。

「いいかげん、やめたら、どう？ あんたらしつこいぞ」

と森崎が止めたが、  
聞きやしない。

しかしそこへ、遅れてやってきた高杉。

「お前ら、暇なことしないでちゃんと体洗えよな」

体もアソコもでかい高杉だった。

「ちゃんとチンカスも洗っとけよ」

と高杉は石崎に言った。

「わかってるって」と石崎。

「お前チンカスくさいからなあ」

と皆が石崎をからかっていたら、

「みんな！

なんと言ったら分かるんだ！

いつもいつも

石崎君をからかい過ぎなんじゃないのか？ 石崎君が困ってるだろう」

と、一番遅れて

キャプテンの大空翼が、

シャワールームに入ってきた。

「おい、翼。なんとかしてくれよ。シャワーの度にこれじゃ、へこむぜ」

と石崎。

「だって、石崎のチンカス、きたねーから」

と滝達が言つと...

「チンコは友達臭くない！」

と翼君は言っ

て、石崎のチンコを洗い始めた。

「ああ、翼、お前」

石崎は驚く。

「石崎君のチンカスが臭いって言うなら、こつやっ

て皆が洗えばい

いじゃないか」

「翼、お前……」

石崎も滝達も  
ドキリとした。

「それが、友情っていうもんじゃないのか！　なあ、みんな！」

「つ、翼……！」



皆は感動した。

「俺も翼の言う通りだと思う」

と監督。

「監督！」

と、微笑む翼。

「よし、ここは、

皆が皆のチンコを洗いっこしよう！」

翼君の提案に皆が賛成した。

「じゃあ、翼のチンコはお返しに俺が洗うぜ」

と石崎が翼のチンコを洗う。

「ありがとう石崎君。嬉しいよ」

「いってことよ翼。それにしても、翼、お前のチンコはでかいな立派だぜ。だけど、いつかは、このチンコはアネゴのものになるんだろうなア」

「やめてくれよ石崎君。照れくさいよ。俺達まだ、キスもまだなんだ」

あははははは……

「顔が赤いぜ翼」

「岬が嫉妬するんじゃないかねーのか？」

「もう、からかわないでくれよ。石崎君、そんなこと言っなら、こっするぞ！」

「あ、翼、やめろ、やめろって、痛いって」

「あはははは……」

翼君が石崎君の包茎を強引に剥こうとした。だから、石崎君が暴れた。

すると、

「あ、石崎君のおちんちんが勃起した！」

「石崎、てめえ、剥けてない？」

「あ、ホントだ。っーか、っーか、痛い！」

「馬鹿してんじゃないよ。早く元にもどせ」と監督。

「まったく馬鹿してんじゃないよ」

監督があわてて石崎の皮を元に戻した。

「翼、冗談でも無茶なことするなよ。真性包茎、強引に剥いたら皮がかりで締め付けられて、マジやばいことなってたぞ」

「監督、ごめんなさい」

「しょうがないな」

「石崎君、ごめんね」

「いいよ翼。そのかわり、翼のそのおちんちんが勃起したところが見てみたいな」  
と石崎。

「はあ？」

困る翼。

「石崎、調子にのるなよ！」

監督に叱られる石崎君だった。

あはははは…

あはははは…

シャワールームから響き渡る少年達の声は、  
爽やかな風となって、  
青く澄み渡る大空へと舞いあがるのであった。

F  
i  
n  
.

（後書き）

青春だなあ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3839e/>

---

『キャプテン翼青春録』

2010年10月24日13時48分発行